

## 資料室

[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [労働安全衛生](#) | [安全衛生活動のキーワード①「実践哲学」](#)[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[▶ キーワード検索はこちら](#)

## 安全衛生活動のキーワード①「実践哲学」

## 安全衛生は「実践哲学」

安全衛生は、単に安全の知識や衛生の知識を豊富に持っていても「災害」を防止することはできません。命や健康に直結する「安全衛生」には、実践行動が一体的に要求されます。したがって、安全衛生の基礎的な知識とともに、「実践・行動」の体現力が必要となります。この体現力を強化するためには、安全衛生のキーワードが有効です。

## 安全衛生でいう「実践哲学」とは、

実践とは「知行合一」のことを言います。哲学とは「人間尊重」のことです。安全衛生は、どんな分野よりも「知識と行動」「理論と実践」の一体化が要求されます。それは、「いのちと健康」に直結した重要な活動だからです。安全衛生は「実践哲学」であるということを実感し、心身に消化させ、心身一如を形成することです。

## 安全衛生に妥協なし

妥協のない人生はありません。しかし、安全衛生に関しては「妥協」は命取りとなります。「まあ、これくらいは良いかがケガのもと」、こんな安全標語もありました。一度失った「命」はもとより、身体の損傷（手足の切断、じん肺等の疾病）は二度と戻りません。「自分の体は自分で守る」、労働の中に自己防衛の金字塔を立てましょう。主体的な労働の安全化こそ「妥協なし」の道です。自分自身に「妥協しない」。作業環境（設備、機工具、作業方法など）に「妥協しない」。仲間・同僚の行動に「妥協しない」。—— ことが重要です。

## 実践・行動には「勇気」が必要

妥協なしの実践には、勇気がいる、知行合一には「勇気」はつきものです。一步踏み出す勇気がいるのです。通常、「労働・生産」の工程、進捗中の状態を一時ストップする、通常外の活動を途中で挟む。それも事前予測なしに。当然、生産性に影響する、業務予定が遅延する、「業務・労働の当然の行動と瞬時の危険予測に基づく安全衛生活動の狭間で労働者は悩むのです。

定常行動で習慣化された行為はなかなか止められない、止まらない。しかし、それでも止める、業務をいったん中止する。そこには、別な力が必要となるのです。それが「勇気」です。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

